

平成 27 年度

一般社団法人 奈良県作業療法士会

定時社員総会 社員総会参考書類



期日 平成 27 年 6 月 14 日 (日) 16 : 00 ~

会場 王寺町やわらぎ会館

〒636-0002 奈良県北葛城郡王寺町王寺 2 丁目 1 番 18 号 TEL : 0745-31-5555

総会次第

1. 開会の挨拶
2. 議長選出
3. 総会議事録署名人 選出
4. 第一号議案 平成 26 年度 事業報告
5. 第二号議案 平成 26 年度 収支報告
6. 第一号、第二号議案に関する質疑応答並びに採決
7. 第三号議案 平成 27 年度 事業計画
8. 第四号議案 平成 27 年度 予算計画
9. 第三号、第四号議案に関する質疑応答並びに採決
10. 第 5 号議案 理事選任に関する議案
11. 第 5 号議案に関する質疑応答並びに採決
12. 閉会の挨拶

平成 27 年度 入会者数 名
総会参加者数 名
委任状総数 枚
() %

御挨拶

一般社団法人 奈良県作業療法士会
会長 大松 慶子

会員の皆様、常日ごろからのご協力ありがとうございます。また、新入会の方は御入会ありがとうございます。これから共に頑張っていきましょう。

今回の総会は、一般社団法人となって3回目となります。

この2年間は、役員一同、力を合わせて法人に相応しい活動を模索しつつ運営にあたって参りました。以前から会員の方には、会の変化を実感できる2年間だったでしょうか？

昨年は皆様のご協力のもと、当士会で初めての全国的取り組みである第55回作業療法全国研修会を成功させることができました。これからも、様々な面で前向きに取り組んでいきたいと考えております。

さて、現在、超高齢社会に伴い、地域包括ケアの重要性が叫ばれております。その中で作業療法士も役割を果たし、さらに職種の独自性を示すことが求められています。

地域包括ケアは、高齢者のみならず全ての人々に関係する考え方です。当会も時代の要請にしっかり答え、作業療法士の存在感を示していきたいと考えます。そのためにも、会員一人ひとりの力量アップと行動力が重要になります。

今後、地域での活動を要請される機会がますます増えていくと思われます。その際には、皆様にご協力をお願いしなければなりません。県士会の力で、地域で作業療法士が活躍する奈良を作っていきましょう！

今年度も、どうぞよろしくお願い致します。

一般社団法人 奈良県作業療法士会 役員一覧
(任期 2013.4～2015.6)

役職	氏名	所属
【 理事 】		
会長	大松 慶子	関西学研医療福祉学院
副会長	東條 秀則	秋津鴻池病院
副会長	松本 裕二	秋津鴻池病院
事務局長	西井 正樹	自宅(関西福祉科学大学)
事務副局長	毛利 陽介	田北病院
学術部長	安井 敦史	UT ケアシステム
事業部長	大西 和弘	秋津鴻池病院
教育部長	木納 潤一	秋津鴻池病院
保健福祉部長	前岡 伸吾	天理よろづ相談所病院 白川分院
北和ブロック長	土井 一輝	東大寺福祉療育病院
中和ブロック長	北別府 慎介	西大和リハビリテーション病院
南和ブロック長	金星 聡	奈良県総合リハビリテーションセンター
【 監事 】		
	内川 誠	国立病院機構 やまと精神医療センター
	中上 裕隆	介護老人保健施設 やくしの里

第一号議案 平成二十六年 事業報告

会長

会長 大松慶子

当初の目標

1. 第 55 回全国研修会の開催を成功させる
2. 会員の横のつながりを重視し、質の高い士会を着実に築いていく
 - 1) ブロック活動の定着と活動の充実
 - 2) 認定作業療法士の増員も含めた会員の質的向上
3. 外部への啓発活動を充実させる
4. 近畿連絡協議会との連携を強める
5. 法人化記念誌を発行する

平成 26 年度は、奈良県作業療法士会にとって初めての全国的取り組みである全国研修会に実行委員会体制で取り組んだ。結果、協会員 433 名 一般参加者 62 名 の計 495 名の参加で大成功となった。県士会の力をさらに高めることができ、実行委員の皆様には感謝申し上げます。

ブロックでの活動は定着し、ブロックを通じた会員管理がスムーズになった。質の面では、認定作業療法士は 8 名となり漸増しているが、依然、基礎研修修了者は会員の 10.3%であり、これらも特定の院所の努力が中心となっている。この点は今後の課題である。啓発活動は、士会内部、外部とも充実したものとなった。内部啓発では、研修会開催や県学会での活動の発表など活発な取り組みとなり、作業療法パンフの作成も行った。

外部啓発では、パーキンソン患者会や難病患者へのアウトリーチ支援など、積極的に取り組み、保健所などからの信頼も得ている。当士会独自の取り組みとして、今後も広がっていくことが望まれる。近畿連絡協議会との関係では、副会長が支部長となり、近畿府県士会全体のとりまとめを行った。各士会の活動がより理解しやすくなり、学ぶことも多かった。

5 月に法人化記念誌を発行した。設立 30 年目の節目に発行することにより、設立からこれまでを振り返り、今後の方向性を考える良い機会となったと考える。

このように、平成 26 年度の活動は、内外とも大変充実したものとなった。その一方、活動が一部の役員・会員に偏っていた傾向もみられた。平成 27 年度は、地域包括ケアの中で士会の役割を果たしていくことが期待されており、会員への、これまで以上の活動への参加を呼びかけていきたい。

副会長

副会長 東條秀則

会長との業務分担として以下のような活動を行った。

1. 日本作業療法士協会や近隣の各県士会との連絡調整
 - 1) 都道府県作業療法士会連絡協議会
各県士会の要望をOT協会へ伝える県士会の代表として出席
本年度は引き続き近畿支部の支部長を担当
4月19日 第一回支部長役員会 本年度は継続して連絡協議会の役割の検討、47委員会の動向確認
5月31日 第二回支部長役員会
6月1日 都道府県作業療法士会総会 ブロック再編等協議
7月25日 第三回支部長役員会
7月26~27日 協会・都道府県作業療法士会合同役職者研修会
大松会長と出席、地域ケア会議等について情報共有
9月19日 第四回支部長役員会
3月20日 第五回支部長役員会
 - 2) 日本作業療法士協会定時社員総会
OT協会の県の代表である代議員として、前岡議員と共に出席
5月31日 WFOTの成功、地域包括ケアシステムへの参画、生活行為向上マネジメントの普及、認知症初期集中支援チームへの参画
 - 3) 日本作業療法士協会倫理委員会
奈良県作業療法士会 倫理問題担当窓口
 - 4) 近畿作業療法士連絡協議会
支部長を務めた。
4月15日 奈良県災害支援担当者会議
5月31日 支部会 連携事業の進捗確認
7月12日 近畿災害支援事業会議
9月28日 近畿認知症支援会議
10月4日 第一回役員交流会 連携事業の事業計画
10月5日 第三十四回近畿作業療法学会にて近畿連携4事業・活動報告セッション
1月10日 第二回役員交流会 連携事業の事業計画・予算立て
 - 5) 他
10月 吉野町認知症予防サロン調整開始
12月20日 奈良県リハビリ3団体連絡協議会（仮称）
2. 公益活動

1) 奈良県医療推進協議会

副会長

副会長 松本裕二

1. ブロックの運営強化については、具体的に着手できず、次年度に持ち越しとする。
2. 規約検討委員長として必要に応じて細則を作成した。

事務局

局長 西井正樹

事務担当

事務局長 西井正樹

1. 事務所の運営の円滑化
事務所機能の強化のため、週 1 回の事務局員を雇用し、事務手続きの円滑化を図った。
2. 会員情報管理の徹底
奈良県士会会員の情報を管理していくためのシステムを徹底して行う。より正確な情報の共有をめざし、ブロック事務局との連携を密に行なった。会員管理システムの活用までには至らなかった。
3. 理事会運営
理事会議事録は、ホームページにて会員が閲覧できるようにした。
4. 情報の伝達
会員に向けて迅速な対応を行った。全施設 FAX 等のペーパーレス化をめざし、なるべくペーパーを削減していくため、ホームページおよびブロックメーリングリストを活用した。しかし、FAX でないと研修会情報を確認できないとの声もあり、未だ完全にペーパーレスに至っていない。
5. 第 55 回全国研修会実行委員会との協力
第 55 回作業療法全国研修会の成功をめざし、研修会実行委員会との連携を図り、円滑な大会運営を行った。

福利厚生担当

福利厚生係 西井正樹

1. 会員の慶弔を行った。
2. 会員間の親睦を深めることを目的として、以下の年間行事を企画した。
 - 1) 会員懇親会
当日の学会終了後の打ち上げの会計並びに司会を担当し、南和ブロックと協力して行った。
 - 2) PT・OT・ST 合同ボーリング大会

3) 士会合同の企画を通じて、他職種との連携を図った。

3. 子育て支援

1) 出産に伴う会費補助

会員の出産に伴う次年度の会費免除を導入した。

2) 託児システムの構築

奈良県作業療法学会にて、託児所の導入を図った。

広報担当

広報担当係 大峠ちはる

1. 広報誌【まほろば】の企画・編集・発送を年3回した。

1) 発送先：県内士会員、全国都道府県事務局

2) 掲載内容

- ・各部局からの部局情報
- ・県内の施設紹介（I施設）
- ・エッセイリレーを実施
- ・福祉用具、バリアフリーの店舗案内
- ・理事会議事録 など

2. 県士会 HP 運営・管理

1週間に約1回の割合で更新した。各県士会からの研修会や学会の案内を掲載した。

3. 事務局メールの確認

2日1回の頻度にてメールを確認し、対応した。

財務担当

副事務局長 毛利 陽介

1. ブロック事務局 財務と連携し会費納入に対し迅速に対応する。

- 1) ゆうちょ銀行振替口座を利用することで、全ての納入者に対応出来ている。
- 2) インターネットを利用し各ブロックと連携することで納入者への対応がスムーズに出来ている。

2. ブロック事務局 財務と連携し会費納入率の向上を図る。

- 1) ブロック財務から直接未納者へ連絡したことで、納入率は90%以上となった。

3. 各部局と連携し、支出を管理する。

- 1) 4半期ごとに決算を行い、経費の管理を行った。

4. 税理士と連携し、法令に準じた決算書を作成し納税を行う。

- 1) 平松税理士事務所と顧問契約を結んでおり、法令に準じて決算書を作成した。
- 2) 各部局の協力を得て、所得税など法令に準じ適切に納税を行っている。

5. 予算を管理し適切に各部局へ配分する。

1) インターネットバンキングを導入し、必要に応じて迅速に予算の送金している。

6. 財務会議を開催する。

1) 事務局・財務会議を2回行った。

学術部

安井敦史

1. 第7回奈良県作業療法学会への演題査読の実施

1) 査読委員会の設置

2) 査読委員を構成

3) 査読者の選定

2. 演題フォーマットのホームページへの掲載

教育部

木納潤一

生涯教育基礎研修

1. 現職者共通研修

以下、現職者共通研修10テーマ中、10テーマを実施した。

・平成26年6月01日 : 事例報告 (参加者5名)

・平成26年6月12日 : 作業療法生涯教育概論 (参加者24名)

講師: 木納潤一先生 (秋津鴻池病院)

・平成26年7月17日 : 事例報告と事例研究 (参加者28名)

講師: 大西和弘先生 (秋津鴻池病院)

・平成26年8月5日 : 保健・医療・福祉と地域支援 (参加者19名)

講師: 西井正樹先生 (関西福祉科学大学)

・平成26年9月11日 : 職業倫理 (参加者19名)

講師: 渡部静先生 (秋津鴻池病院)

・平成26年11月18日 : 作業療法における協業・後輩育成 (参加者15名)

講師: 坪内善仁先生 (秋津鴻池病院)

・平成26年12月12日 : 日本と世界の作業療法の動向 (参加者9名)

講師: 日垣一男先生 (大阪府立大学)

・平成27年1月23日 : 作業療法の可能性 (参加者11名)

講師: 前岡伸吾先生 (天理よろづ相談所病院)

・平成27年2月03日 : 実践のための作業療法研究 (参加者10名)

講師: 東條秀則先生 (秋津鴻池病院)

・平成27年2月10日 : 事例検討 (参加者14名)・事例報告 (参加者3名)

講師：大西和弘先生（秋津鴻池病院）

2. 現職者選択研修（身体障害領域）

- ・平成26年9月21日：現職者選択研修—身体障害領域（参加者43名）
講座：身体障害領域の基礎知識の基礎知識 講師：西井正樹先生（関西福祉科学大学）
講座：脳血管障害 講師：北別府慎介先生（西大和リハビリテーション病院）
講座：神経・筋・内部障害 講師：前岡伸吾先生（天理よろづ相談所病院）
講座：筋骨格系・外傷 講師：金星聡先生（奈良県総合リハビリテーションセンター）

3. その他

- ・県士会員の生涯教育手帳管理
- ・事例報告研修制度の管理運営、及び事例登録推進

事業部

大西和弘

1. 研修事業

1) 事業部セミナー

- ・「作業療法の視点に基づいた認知症をもつ人の活動能力評価
～プール活動レベルの紹介と実践～」
講師：小川真寛先生 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻作業療法講座
日時：平成26年5月25日（日） 参加者：45名
場所：奈良県総合リハビリテーションセンター
 - ・「USNの評価と治療」
講師：酒井 浩先生
名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻准教授
日時：平成26年6月28日（土） 参加者：53名
場所：関西学研医療福祉学院
 - ・「ケーシーを脱いで街に出よう！」
講師：山口清明先生（国民健康保険関ヶ原病院リハビリテーション科）
日時：平成26年12月5日（金） 参加者：50名
場所：奈良県文化会館
 - ・「認知症介護予防事業における作業療法実践」
講師：西田征治先生（県立広島大学）
日時：平成27年1月11日（日） 参加者：29名
場所：秋津鴻池病院
- 2) スキルアップセミナー（全て県士会員は無料）

- ・「肩関節機能障害へのアプローチ～肩甲上腕関節を中心に～」
 - 講師：大西和弘先生（秋津鴻池病院）
 - 日時：平成 26 年 5 月 15 日（木） 17 日（木） 参加者：35 名
 - 場所：秋津鴻池病院
- ・「肩関節機能障害へのアプローチ～肩甲帯周囲編～」
 - 講師：大西和弘先生（秋津鴻池病院）
 - 日時：平成 26 年 5 月 22 日（木） 24 日（土） 参加者：35 名
- ・「脳卒中患者の脳画像の読み方」
 - 講師：北別府慎介先生（西大和リハビリテーション病院）
 - 日時：平成 26 年 5 月 27 日（火） 29 日（木） 参加者：46 名
- ・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入」
 - 講師：前岡伸吾先生（天理よろづ相談所病院白川分院）
 - 日時：平成 26 年 6 月 13 日（金） 27 日（金） 参加者：44 名
- ・「作業療法士のためのフィジカルアセスメント」
 - 講師：渡部 静先生（秋津鴻池病院）
 - 日時：平成 26 年 8 月 7 日（木） 参加者：47 名
 - 場所：秋津鴻池病院
- ・「認知症における作業療法実践～病態生理と生活障害の捉え方～」
 - 講師：坪内 善仁先生（秋津鴻池病院）
 - 日時：平成 26 年 8 月 21 日（木） 参加者：45 名
 - 場所：秋津鴻池病院
- ・「意味のある作業とは」
 - 講師：大松 慶子先生（関西学研医療福祉学院）
 - 日時：平成 26 年 10 月 12 日（日） 参加者：22 名
 - 場所：関西学研医療福祉学院
- ・「作業を援助する必要性」
 - 講師：大松 慶子先生（関西学研医療福祉学院）
 - 日時：平成 26 年 10 月 12 日（日） 参加者：23 名
 - 場所：関西学研医療福祉学院
- ・「精神科デイケアにおける就労支援の実践報告」
 - 講師：早川 智美先生（五条山病院）
 - 日時：平成 26 年 11 月 20 日（木） 参加者：30 名
 - 場所：関西学研医療福祉学院
- ・「手指機能障害への作業療法」
 - 講師：毛利 陽介先生（田北病院）
 - 日時：平成 26 年 12 月 18 日（木） 参加者：54 名

場所：田北病院

・「老年期の作業療法」

講師：東條 秀則先生（秋津鴻池病院）

日時：平成 27 年 1 月 8 日（木） 参加者：38 名

場所：秋津鴻池病院

・「作業療法士のための統計学と研究方法」

講師：西井 正樹先生（関西福祉科学大学）

日時：平成 27 年 1 月 12 日（月） 参加者：8 名

場所：関西福祉科学大学

・「作業療法士の現場で活かせる物理療法」

講師：北別府 慎介先生（西大和リハビリテーション病院）

日時：平成 27 年 1 月 16 日（金） 参加者：39 名

場所：西大和リハビリテーション病院

3) 他研修会

・生活行為向上マネジメント委員会 研修会

平成 26 年 5 月 17 日(土)18 日（日）近畿連絡協議会と共催

平成 26 年 7 月 26 日（土）27 日（日）近畿連絡協議会と共催

平成 26 年 12 月 23 日（火） 日本作業療法士会助成事業

平成 27 年 3 月 6 日（金） 日本作業療法士会助成事業

2. 啓発事業

1) 内部啓発

・啓発委員会会議

平成 26 年 4 月 8 日、5 月 21 日、7 月 14 日、8 月 5 日、9 月 1 日、9 月 19 日、10 月 6 日、11 月 4 日、平成 27 年 1 月 19 日、1 月 29 日、2 月（未定）、

2) 外部啓発

・家族会

奈良県パーキンソン病友の会奈良支部、家族会への在宅療養訪問相談

平成 26 年 4 月 24 日（木）桜井

平成 26 年 6 月 26 日（木）奈良

平成 26 年 9 月 25 日（木）郡山

平成 26 年 11 月 25 日（火）大宇陀

平成 27 年 2 月

・難病支援関連

研修会

平成 26 年 6 月 18 日（水）奈良県吉野保健所主催 難病支援研修会スタッフ参加

平成 26 年 8 月 24 日 (日) NEC 難病コミュニケーション支援講座
ハーティラー大会 in 大阪 森ノ宮医療大学

平成 27 年 1 月 17 日 (土) 奈良市保健所主催 難病支援研修会
近畿 ALS 協会総会

平成 26 年 6 月 14 日 (土) 総会参加 グランキューブ大阪
ALS 患者様在宅訪問 (奈良市保健所における難病患者への支援)

平成 26 年 4 月 9 日 (水) 在宅訪問 西吉野 機器調整

平成 26 年 9 月 25 日 (木) 郡山保健所保健師と同行訪問

平成 26 年 10 月 17 日 (金) 葛城保健所 保健師と香芝市訪問

平成 26 年 11 月 2 日 (日) 香芝市訪問 H26.11.25 (火) 香芝市訪問

平成 26 年 11 月 10 日 (月) 葛城保健所会議参加

平成 27 年 2 月

奈良つながりの会

平成 26 年 8 月 11 日 (月) 家族会支援

・介護の日

平成 26 年 11 月 3 日 (月祝) リハビリ相談ブース参加ならまちセンター 9
時~17 時

・バリアフリー展

平成 26 年 4 月 17 日 18 日 19 日 バリアフリー展 相談コーナー参加

平成 26 年 10 月 19 日 (日) バリアフリー展会議出席 大阪府作業療法士会事
務所

・その他

平成 27 年未定 奈良県高次脳機能障害支援体制検討委員会 参加

3. 委員会活動他

・特別教育支援委員会

特別支援委員会会議 平成 26 年 6 月 27 日 (金)、

奈良県発達領域作業療法 全体連絡会議 平成 26 年 9 月 26 日 (金) 32 名参加

奈良県発達障がい者就労支援セミナーシンポジウム参加 平成 26 年 12 月 6 日 (土)

奈良市子ども発達センター 療育相談事業 平成 26 年 36 回派遣

奈良市健康増進課 4 歳 6 カ月児相談会 平成 26 年 10 回派遣

・奈良精神科作業療法勉強会 (SIG)

・生涯教育制度推進担当者会議

平成 25 年 10 月 5 日 (土) 東京

・災害対策支援事業 会議参加 平成 26 年 4 月 15 日 東條副会長

・認知症支援委員会

平成 26 年 5 月 14 日 三郷町行政担当者挨拶

・認知症関連

平成 26 年 4 月 2 日（水）認知症支援委員会挨拶間回り

平成 26 年 5 月 14 日（水）認知症支援委員会 初期集中支援会議

平成 26 年 12 月 1 日（月）認知症支援委員会 吉野町サロン見学

平成 27 年 2 月 23 日（月）認知症支援委員会 吉野町サロン挨拶

・訪問リハ

第 5 回 訪問リハビリテーション地域リーダー会議 東京タイム 24 ビル

平成 26 年 5 月 16 日（金）17 日（金） 安井敦史 OT

3 団体打ち合わせ会議

平成 26 年 10 月 23 日（木）

平成 26 年 11 月 20 日（木）

平成 27 年 1 月 22 日（木）

訪問リハビリテーション実務者研修会 3 士会合同

平成 27 年 2 月 7 日（土）8 日（日）

保健福祉部

前岡伸吾

1. 日本作業療法士協会保健福祉部との情報の共有と会員への周知
 - 1) 診療報酬・介護報酬改定に向けての情報収集を行った。
2. 診療報酬に関する研修会の実施
 - 1) 平成 26 年度診療報酬改定についての研修会を実施した。
3. 奈良県保険医協会との連携
 - 1) 奈良県保険医協会と交流を深める中で情報収集や意見交換、研修会などへの参加を行った。
4. 保健福祉部会議の実施
 - 1) 年 2 回（6 月と平成 27 年 2 月）部局会議を実施した。

北和ブロック

ブロック長 土井一輝

1. 北和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った。
2. 北和ブロック会議を 2 回実施した。
 - 第 1 回北和ブロック会議（研修会準備のための会議）
日程：平成 26 年 10 月 2 日 内容：研修会の仕事内容の確認・検討 参加者数：5 名
 - 第 2 回北和ブロック会議
日程：平成 27 年 1 月 29 日 内容：次年度の研修会テーマの検討 参加者数：14 名
3. 北和ブロック研修会の企画・運営を行った。

日程：平成 26 年 10 月 12 日

テーマ：「成人の発達障害への対応 ～精神科デイケアでの実践～」

講師：芳賀大輔先生（さわ病院） 参加者数：23 名

4. 第 55 回全国研修会において接待業務等を担当した。

中和ブロック

ブロック長 北別府慎介

1. 中和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った。
2. 中和ブロック会議を 2 回開催。
第 1 回中和ブロック会議（平成 26 年 1 月 22 日）
内容：ブロック研修会準備、奈良学会実行委員 参加者数：25 名
第 2 回中和ブロック会議（平成 27 年 3 月 4 日）
内容：奈良学会実行委員会 参加者数：23 名
3. 中和ブロック研修会の企画・運営を行った。
テーマ：「根拠に基づくリハビリテーション評価の実践 - すぐに臨床に活かせる帰結評価指標の知識と有効利用法 - 」
講師：徳久謙太郎先生（西大和リハビリテーション病院） 日程：平成 27 年 2 月 6 日
参加者数：42 名
4. 全国研修会の会場、進行業務担当
全国研修会において会場設備、進行業務を担当した。

南和ブロック

ブロック長 金星聡

1. 南和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った。
2. 第 7 回奈良県作業療法学会の準備・開催を行った。また、それに伴う実行委員会会議を行った。
3. 第 55 回作業療法全国研修会において受付業務等を担当した。

各種委員会

委員会名	委員長	内容
倫理委員会	東條秀則	奈良県士会倫理担当窓口
選挙管理委員会	山本恵美	選挙の実施・運営
規約検討委員会	松本裕二	定款・細則の作成・変更
五ヵ年計画委員会	大松慶子	3年間の総括の作成、平成27年度以降の計画修正

規約検討委員会

松本 裕二

1. 正会員規程、賛助会員規程作成。平成26年9月18日施行。
2. 選挙管理規程作成。平成27年1月26日施行。
3. 賛助会員規程 平成27年1月26日一部変更。
4. 旅費規程、謝金規程、休会規程、パートタイム社員規程作成するが、理事会の承認を得ていないため施行には到っていない。

五ヵ年計画委員会

大松慶子

今年度は3年目にあたり、計画の進捗状況確認のため、11月に1回会議を開催した。結果、各担当部門とも、概ね目標どおりに実施できていた。2016年度以降の本委員会の継続が理事会で承認され、新たな委員の募集を実施することとなった。

【自治体および各種団体より依頼された委員】

【奈良県】

- ・ 奈良県発達障害就労支援連絡協議会委員
(宮崎瑠璃子)

【奈良市】

- ・ 障害者自立支援法 奈良市審査委員
(大西美雪, 早川智美, 佐藤いづみ, 宮崎瑠璃子, 北野真奈美, 前岡伸吾)
- ・ 介護認定審査会委員
(西井正樹, 島本良重)

【他団体】

- ・ 奈良脳外傷友の会あすか
- ・ 奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員 (北野真奈美)

第二号議案 平成二十六年 決算報告

貸借対照表

(平成27年 3月31日 現在)

一般社団法人 奈良県作業療法士会

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
[流動資産]	[2,730,814]	[流動負債]	[35,340]
現金及び預金	2,730,814	前受金	31,000
[固定資産]	[145,845]	預り金	4,340
(無形固定資産)	(126,399)	負 債 の 部 計	35,340
ソフトウェア	126,399		
[繰延資産]	[152,007]		
創立費	152,007	【純資産の部】	
		[基金等]	[2,973,880]
		基金	0
		利益剰余金	2,973,880
		(その他利益剰余金)	(2,973,880)
		繰越利益剰余金	2,973,880
		純資産の部計	2,973,880
資 産 の 部 計	3,009,220	負 債 ・ 純 資 産 の 部 計	3,009,920

損益計算書

(平成26年 4月 1日 から 平成27年 3月31日)

一般社団法人 奈良県作業療法士会

(単位:円)

科 目	金 額	
I. 経常収益の部		
1. 経常収益		
受取会費及び寄付金		
会費	3,636,000	
寄付金	755,000	
事業収益		
学会収益	324,000	
研修会収益	669,000	
財務収益		
受取利息	171	
その他収益		
補助金及び助成金収益	100,000	
雑収入	1,174,500	
経常収益計		6,658,671
2. 経常費用		
事業費用		
講師謝礼	550,000	
講師交通費	112,410	
研修会消耗品費	90,468	
発送費	71,666	
事務用消耗品費	37,800	
賃借料	52,704	
減価償却費	38,892	
旅費交通費	265,402	
通信費	25,655	
支払手数料	4,968	
印刷製本費	864,861	
広報費	87,480	
レセプション費用	814,100	
雑費	153,796	
管理費用		
給料手当	120,600	
事務文具費	40,855	
什器備品費	53,873	
賃借料	600,000	
接待交際費	3,801	
旅費交通費	333,742	
通信費	192,466	
支払手数料	174,806	
会議費	22,187	
諸会費	387,600	
懇親会費	273,722	
経常費用計		5,373,854
当期経常損益		1,284,817
II. 経常外損益の部		
1. 経常費用		
創立費償却	50,669	
経常外費用計		50,669
税引前当期純損益		1,234,148
当期純損益		1,234,148

第三号議案 平成二十七年度 事業計画

会長

大松慶子

平成 27 年度事業計画

1. 地域包括ケアシステムでの作業療法の役割を会員間で確認し、対外的に広める
 - 1) 生活行為向上マネジメントの普及と実践
 - 2) 認知症予防の取り組みをすすめる
 - 3) 複数の自治体で地域ケア会議のメンバーとなる
 - 4) 活動と参加を重視した実践事例を各ブロックで作り出す
2. 啓発活動の充実
 - 1) 経験年数の少ない作業療法士を中心に、士会活動への協力者を増やす
 - 2) パーキンソン病友の会、難病患者への支援活動に引き続き取り組む
3. 会員の質的向上を目指した取り組み
 - 1) 基礎研修終了者を 20%に増やす
 - 2) 認定作業療法士を 15 名に増やす
4. 近畿連絡協議会との連携をすすめる

副会長

東條秀則

1. 引き続き奈良県士会以外の体外的な会長の補佐を行う。
 - 1) 都道府県作業療法士会連絡協議会
 - ・ 県士会の代表として出席
 - ・ 合同役職者研修会出席調整
 - 2) 日本作業療法士協会定時社員総会
 - ・ 協会の県の代表として出席
 - 3) 日本作業療法士協会 47 委員会（仮称）
 - ・ 県士会の代表として出席
 - 4) 日本作業療法士協会倫理委員会
 - ・ 窓口
 - 5) 近畿作業療法士連絡協議会
 - ・ 支部会議の出席
 - ・ 役員交流会への出席
 - ・ 連携事業への取り組み ①災害支援対策事業
②認知症支援チーム事業

2. 公益活動
 - 1) 奈良県医療推進協議会
 - ・適時協力
 - 2) その他適時協力

事務局

局長 西井正樹

事務担当

事務局長 西井正樹

1. 事務所の運営の円滑化
事務所機能の強化並びに整備を行っていく。
2. 会員情報管理の徹底
奈良県士会会員の情報を管理していくためのシステムを徹底して行う。より正確な情報の共有をめざし、会員管理システムの活用、ブロック事務局との連携を密に行っていく。会員管理の入退会の徹底を周知できるようなキャンペーンを行っていく。
3. 理事会運営
理事会の円滑な運営を目指す。理事会議事録については、ホームページにて会員が閲覧できるようなシステムの構築を行っていく。
4. 情報の伝達
全施設 FAX 等のペーパーレス化をめざし、なるべくペーパーを削減していくため、ホームページおよびブロックメーリングリストを活用する。

福利厚生担当

福利厚生係 西井正樹

1. 会員の慶弔を行う。
2. 会員間の親睦を深めることを目的として、以下の年間行事を企画する。
 - 1) 学会終了後の打ち上げ
当日の学会終了後の打ち上げの会計並びに司会を担当し、啓発委員会と協力して行う。
 - 2) PT・OT・ST 合同ボーリング大会（時期未定）
 - 3 土会合同の企画を通じて、他職種との連携を図る。
3. 子育て支援
 - 1) 出産に伴う会費補助
会員の出産に伴う次年度の会費免除を継続していく。

広報担当

広報担当係 大峠ちはる

1. 広報誌（まほろば）の発行

- 1) 広報誌の発送を年4回行う（県士会員、全国都道府県）。
 - ・HPにも広報誌を掲載する。
 - ・求人広告掲載を広く募り、県内各施設の作業療法士の充足を図る。
 - ・Activity や書籍紹介等、新規に企画し会員に情報を提供する。
2. 奈良県作業療法士会ホームページ
 - ・ホームページのバージョンアップを図る。
 - ・1ヶ月内に約2回の割合で情報更新を行う。

財務担当

副事務局長 毛利陽介

1. ブロック事務局 財務と連携し会費納入に対し迅速に対応する。
2. ブロック事務局 財務と連携し会費納入率の向上を図る。
3. 各部局と連携し、予算・支出を管理する。
4. 税理士と連携し、法令に準じた決算書を作成し納税を行う。
5. 財務会議を開催する。
6. 会員管理システムを管理する。

学術部

安井敦史

- 1) 奈良県作業療法学会査読体制の見直し
 - ・査読実務のマネジメントを行う部員の養成
 - ・部局員への査読体制の周知を図る
 - ・分野別査読委員の選定
 - ・査読者への委嘱状発行
- 2) 第8回奈良県作業療法学会での演題査読実施
- 3) SIGの管理

教育部

木納潤一

1. 生涯教育基礎研修
 - 1) 現職者共通研修を以下の要領で実施予定。
 - ・作業療法生涯教育概論 H27.6月予定
 - ・事例報告（奈良学会） H27.6月予定
 - ・事例報告と事例研究 H27.7月予定
 - ・保健・医療・福祉と地域支援 H27.8月予定
 - ・職業倫理 H27.9月予定

- ・実践のための作業療法研究 H27.10月予定
- ・作業療法の可能性 H27.11月予定
- ・作業療法における協業・後輩育成 H27.12月予定
- ・日本と世界の作業療法の動向 H28.1月予定
- ・事例検討、事例報告 H28.2月予定

2) 現職者選択研修について、平成27年度は発達障害領域を実施予定。

※8月、9月頃、開催予定

2. 生涯教育手帳管理
3. 事例報告登録研修制度の実施と事例登録の推進
4. 生涯教育基礎研修修了者への修了申請手続きの促進

事業部

大西和弘

1. 研修事業

1) 事業部セミナー

平成27年 事業部セミナー

1. 齋藤佑樹先生 こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校
「作業に焦点を当てた実践(仮題)」
2. 松本琢磨先生 神奈川県総合リハビリテーションセンター作業療法学科
「脊髄損傷者への作業療法(仮題)」
3. 検討中

※詳細は今後確定次第アナウンス予定

平成27年 人材育成研修セミナー(現職者基礎研修修了者及び臨床経験5年以上対象)

1. 山下協子先生 大阪府作業療法士会 副会長
「検討中」

※詳細は今後確定次第アナウンス予定

2) スキルアップセミナー(全て県士会員は無料)

- ・「意味のある作業と作業を援助する必要性」
- ・「人間作業モデルで事例を考える」
- ・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅰ」
- ・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅱ」
- ・「手指機能障害への作業療法Ⅰ」
- ・「手指機能障害への作業療法Ⅱ」
- ・「老年期の作業療法」
- ・「脳卒中後の上肢麻痺に対する評価とアプローチ」
- ・「脳卒中後の上肢麻痺に対する神経筋電気刺激の実践」

- ・「認知症における作業療法実践」
- ・「精神障害領域で使える評価と治療」
- ・「ADL 分析」
- ・「訪問作業療法 実務と連携」
- ・「脊髄損傷者への作業療法」

※平成 27 年度 内容更新

詳細は追ってホームページ及びメーリングリスト等でアナウンス予定

2. 啓発事業

1) 内部啓発

- ・啓発委員会を中心に、県士会員への働きかけを行う。
また、平成 28 年度以降で「作業療法の日」を開催に向け、検討会議予定

2) 外部啓発

- ・家族会
奈良県パーキンソン病友の会奈良支部、家族会への支援
- ・難病支援関連
研修会への参加
奈良県難病支援センター及び県内保健所における難病患者への支援
家族会支援
- ・介護の日
リハビリ相談ブースへの参加（PTST 士会合同）
- ・バリアフリー展
平成 27 年 4 月 16 日 17 日 18 日 参加
- ・その他
奈良県高次脳機能障害支援体制検討委員会

3. 活動支援他

1) 委員会及び専門部会

- ・特別教育支援委員会
- ・訪問リハ関連
- ・生涯教育制度推進担当者会議出席

保健福祉部

前岡伸吾

1. 日本作業療法士協会保健福祉部との情報の共有と会員への周知

- 1) 定期的に配信される診療改訂に向けた情報を必要に応じてHPに掲載する
 - 2) 診療報酬・介護報酬改定に向けての情報収集を行う
- ## 2. 診療報酬に関する研修会の実施

- 1) 必要に応じて診療報酬・介護報酬改定に向けた研修会を実施し、また情報交換会の機会を設ける
3. 奈良県保険医協会との連携
 - 1) 奈良県保険医協会と交流を深める中で情報収集や意見交換、研修会などへの参加を行っていく
4. 保健福祉部会議の実施
 - 1) 年2回(5月と平成28年2月)部局会議を実施する

北和ブロック

ブロック長 土井一輝

1. 北和ブロック研修会を企画・運営する。(平成27年度上半期予定)
2. 次年度の奈良県作業療法学会の企画を行う
3. 北和ブロック会議を実施し、研修会・学会の企画・準備を行う(平成27年6月、8月、9月の3回を予定)。集まりの中で会員同士のつながりを強化する。生活行為向上マネジメントの会員に向けての啓発を行う。
4. ブロック財務と連携し、北和ブロックのスムーズな運営を図る。

中和ブロック

ブロック長 北別府慎介

事業計画

1. 第8回奈良県作業療法学会の運営を行う。
2. 中和ブロックの会員管理を行う。
3. 生活行為向上マネジメントの会員に向けての啓発を行う。

南和ブロック

ブロック長 金星聡

1. 南和ブロック研修会を平成27年度下半期(予定)に開催する。
2. 南和ブロック会議の開催
 - 1) 平成27年6月、9月、10月の3回(予定)で開催する。
 - 2) 内容は主にブロック研修会の企画・準備とする。
 - 3) ブロック会議の中で、生活行為向上マネジメントの啓発を行う。
3. 南和ブロック事務局機能の徹底
 - 1) 南和ブロックメーリングリストによる事務連絡等を迅速に行う。
 - 2) 南和ブロック会員の入退会・異動、年会費納入の正確な管理を事務局と財務部の連携により行う。

各種委員会（常設委員会）

倫理委員会

委員長 東條秀則

1. 奈良県士会窓口
 - ・事案が生じれば対応を検討する。

規約検討委員会

委員長 松本裕二

1. 旅費規程、謝金規程、休会規程、パートタイム社員規程の施行。
2. 細則の作成・変更を実施する。

5か年計画委員会

委員長 大松慶子

1. 計画の進捗状況確認
2. 次の5年間に向けた各委員の問題意識の掘り起こしと検討
3. 新たな委員の募集

生活行為向上マネジメント委員会

委員長 西井正樹

1. PT・ST 向け研修会
2. ケアマネ向け研修会
3. OT 向け研修会 年2回予定

認知症支援委員会

委員長 東條秀則

1. 吉野町認知症予防サロン
 - ・吉野町予算とは別に、県士会予算にて評価等に携わる。
2. 認知症初期集中支援チーム
 - ・適時会議を開催し、情報共有を図る。
 - ・適時行政との打ち合わせ会議を実施する。
3. 近畿作業療法士連絡協議会連携事業
 - ・会議に出席し情報共有を図る。
4. その他
 - ・認知症に関する行政からの依頼があれば、適時対応を検討する。

災害支援委員会

委員長 東條秀則

1. 奈良県担当者会議
 - ・会議の出席し情報共有を図る。
2. 研修会
 - ・必要に応じて研修会の開催を検討する。

3. 近畿作業療法士連絡協議会連携事業

- ・会議に出席し情報共有を図る。

地域包括ケアシステム委員会

委員長 安井敦史

1. 委員間での連絡体制の強化と情報共有
⇒会議の開催にて土会の方針・今後の対策などの共有を行う
2. 各県士会員の地域での活動状況の把握
⇒アンケート調査の継続実施にて現状把握を行う
3. 会員向け研修会・多職種合同での研修会の企画・開催
(生活行為向上マネジメント委員会との連携)
⇒多職種共同での研修会の開催
4. 県内各自治体担当窓口への訪問活動の実施
⇒各自治体の方針・ニーズの聞き取りを行う

特設委員会

選挙管理委員会

委員長 谷川朋子

1. 選挙に応じて、対応する。

第四号議案 平成二十七年 度 予算案

収入の部	会費	既入会	3,600,000
		新入会	220,000
		賛助会員	50,000
	地域活動費(OT協会)		20,000
	事業収入	現職者共通研修	80,000
		現職者選択研修	80,000
		北和ブロック研修会	30,000
		南和ブロック研修会	30,000
		奈良県作業療法学会	260,000
		福利厚生交流会参加費	150,000
		事業部研修会	259,000
繰越金		2,699,814	
計		7,478,814	

支出の部	会長・副会長交通費	30,000
	理事会費	187,000
	事務局費	2,253,710
	学術部費	15,000
	事業部費	870,000
	教育部費	330,000
	保健福祉部費	25,000
	近畿学会協力金	304,000
	出張旅費(都道府県連絡協議会、訪問リハ会議)	150,000
	北和ブロック費	70,000
	中和ブロック費	30,000
	南和ブロック費	55,000
	5ヶ年計画委員会	15,000
	第8回奈良県作業療法学会	615,000
	税理士費用	180,000

	認知症支援委員会	60,000
	災害支援対策委員会	30,000
	祝賀会積立金	100,000
	地域包括ケアシステム委員会	130,000
	生活行為向上マネジメント委員会	170,000
	交際費	100,000
	予備費	1,759,104
計		7,478,814

事務局費内訳

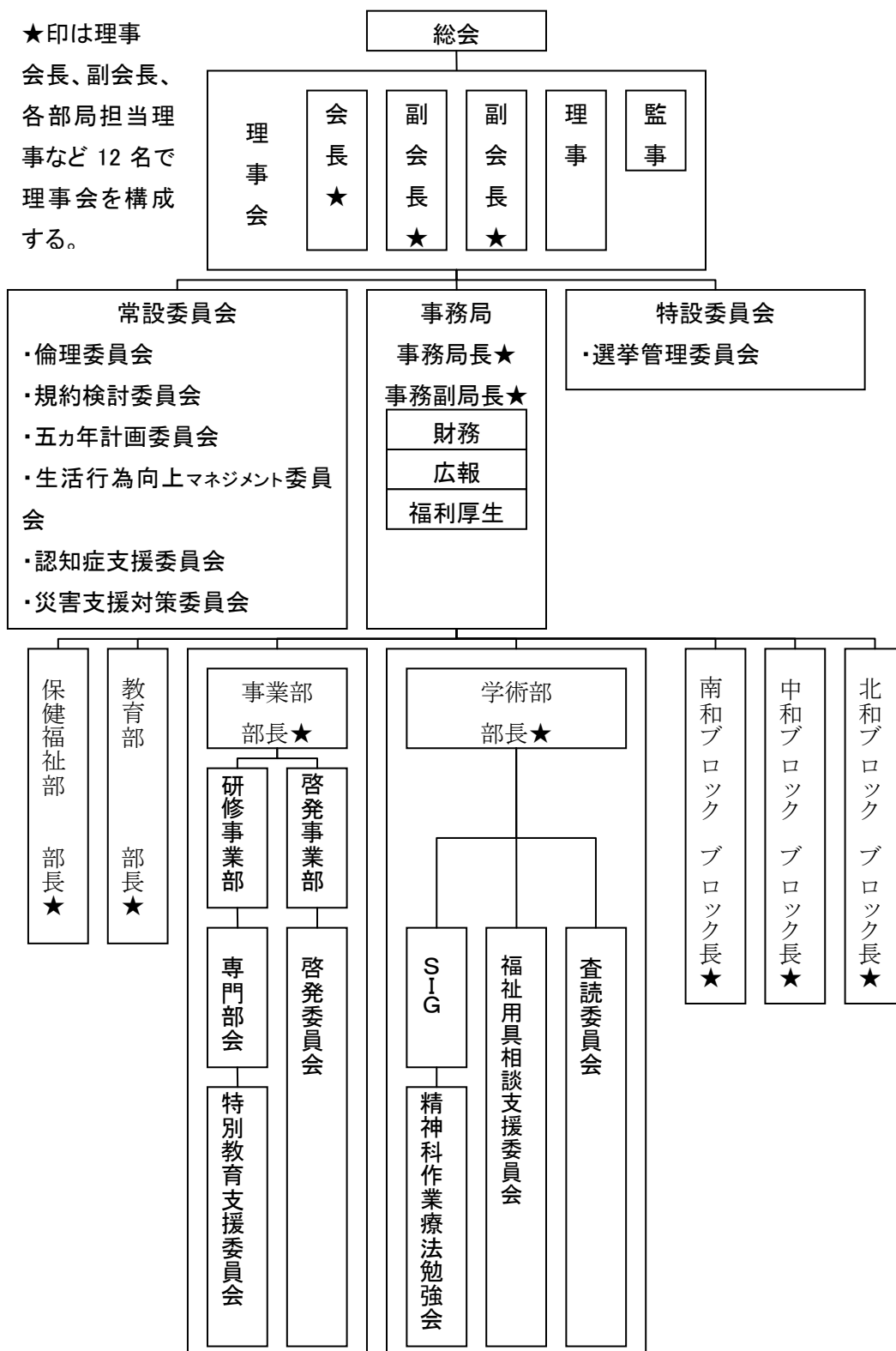
	事務所賃貸代	600,000
	備品費	150,000
	ホームページ運営維持費	160,000
	ホームページ追加・更新費	150,000
	登記費用	100,000
	携帯電話通信費	60,000
	文書通信費(総会資料郵送費・振込者資料郵送)	60,000
	事務用品	20,000
	印刷費用・総会準備費	100,000
	事務局員パート代	150,000
	都道府県OT士会連絡協議会運営費	20,210
	介護の日協賛金	20,500
	事務局員交通費	30,000
	事務局 財務費	35,000
	事務局 広報費	243,000
	事務局 福利厚生費	355,000
計		2,253,710

第五号議案

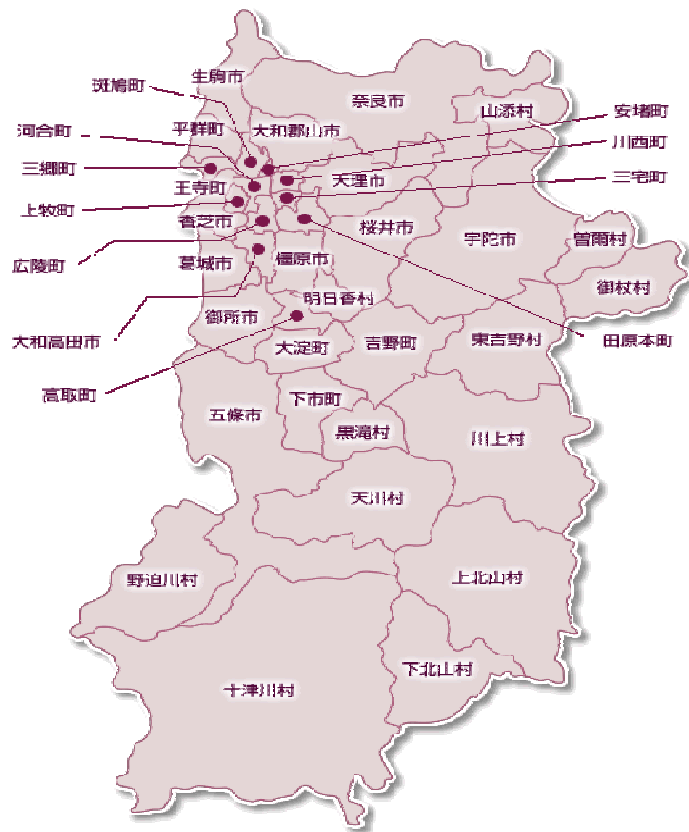
1. 役員選挙改選について

一般社団法人 奈良県作業療法士会 組織図

★印は理事
 会長、副会長、
 各部局担当理
 事など 12 名で
 理事会を構成
 する。



一般社団法人 奈良県作業療法士会 所属ブロック



北和ブロック

奈良市 生駒市

中和ブロック

天理市 大和郡山市 生駒郡 北葛城郡 香芝市

南和ブロック

桜井市 五條市 宇陀市 大和高田市 橿原市 葛城市 御所市 高市郡
磯城郡 吉野郡